

令和5年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和5年6月13日（火） 15:00~16:30
場所	豊橋市中央図書館 第2学習室
委員	出席定数12名 10名出席
事務局	7名
議事	議題 (1) 会長、副会長の選任について 報告事項 (1) 令和4年度図書館利用状況（速報値） (2) 令和5年度豊橋市図書館資料収集方針 (3) 令和5年度主要事業
配付資料	議題 (1) 会長、副会長の選任について 報告事項 (1) 令和4年度図書館利用状況（速報値） (2) 令和5年度豊橋市図書館資料収集方針 (3) 令和5年度主要事業

<議事概要>

議題

(1) 会長、副会長の選任について

「豊橋市図書館規則」第27条第1項に「会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める」となっている。この規定に基づき会長及び副会長の選出をお願いする。発言をお願いする。

【委員】

第20期に引き続き、角田委員を会長に、丸山委員を副会長に推薦する。お二人とも図書館協議会委員としての経験も豊富で適任だと考えるが、委員の皆さま、いかがか。

(事務局)

よろしければ拍手にてご賛同下さい。

(全員拍手にて了承)

(事務局)

全員から拍手を頂き、ご賛同を頂いた。

以上により、第21期の豊橋市図書館協議会の会長を角田委員に、副会長を丸山委員に選任するものとする。

(以降、会長が議長となって議事を進行)

報告事項

(1) 令和4年度図書館利用状況(速報値)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

まちなか図書館開館の効果がよく現れており、よいことである。

また、大清水図書館の入館者数が多いようだが、貸出人数が少ない。特別なイベントを行って入館者数が増えたということか？

(事務局)

雑誌コーナーのレイアウトの都合上、入館者をカウントするゲートを窓口センターの利用者も通ることと、110周年のイベント、ミナクルまつりや、高校と連携した部活動の企画展示等を行っていることが影響していると考えている。

【委員】

まちなか図書館の効果が出ている。どこまで目標としているのか。

(事務局)

まちなか図書館について年間約60万人に利用いただいている。当初の目標は、50万から70万人の利用であり、目標の中間である。

今までやってきたことをそのまま行うのではなく、新たなことに取り組んだり、新たな人も巻き込みながら進めていきたい。

【委員】

まちなか図書館にはカフェもあり、飲食可能という新しい形態が受け入れられている。

【事務局】

図書館のイベントについて、ただ場所を貸すだけでなく、なぜ図書館でイベントを行うか軸を作って行っていきたい。

【委員】

まちなか図書館は、息子もよく利用している。つくるときからのいろいろなイメージがそのまま体现されている。

私は、学生時代は中央図書館で勉強していたが、時代に合わせて図書館というあり方がさまざまな形で表明されているのは、行政としてとても重要なところだと思う。いろいろなワークショップ・イベントをみても中央図書館だからこそ、まちなか図書館だからこそといったようにしっかりと区分けされている。ライトに文化に触れる、人に触れる、地元を知ることができるといったことは、まちなか図書館は、大きな意味を持っている。しっかりと研究されている展示・発表は中央図書館で行っている。こういうものを大切にしているのが豊橋市の特徴である。我々としても自信を持っていくことができる。しっかりと予算をつけていただいて豊橋市が文化の都市としての位置づけであってほしい。

【委員】

まちなか図書館は仕事で2通り利用している。

一つ目は、不登校の子の対応している。学校は行かないが、何か学びたい、何かできるようになりたいという欲求は誰でもある。その欲求を膨らませるために利用している。まちなか図書館は程よくざわつきがあっている。

二つ目は、まちかど保健室を開催している。家族や友達に言いづらいことの相談を受けている。

どちらもニッチな利用をしているが、多くの人が喜ぶわけではないが、ひっそりと人目につかないよう過ごしている人の役にも立っている。

【委員】

高校生の時に中央図書館でたくさん読書をした。今は欲しい本は購入しているが、調べ物については図書館を利用している。豊橋の場合はカラーが違う図書館が4つあり、誇りである。新しいスタイルの図書館があり行くことがあるが、やっぱり豊橋はそれぞれが強みを持っており、豊橋ぐらいの規模でこれだけ図書館が充実しているのはなかなかないと思う。まちな図書館だけではなく、蔵書量が豊富な中央図書館で借りて、まちな図書館で返すということができる。それだけでなく、まちな図書館では多くのイベントを行っている。他市をみてもあれだけのイベントや展示を行っているところはなかなかない。豊橋市は素晴らしいと思う。

【委員】

本の紙に触ってほしい。紙の良さを感じてほしい。
今後の図書館に期待している。

(2) 令和5年度豊橋市図書館資料収集方針

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

郷土資料収集の優先順位はあるか。

(事務局)

いろいろなジャンルについて買い漏らさないようにしている。

【委員】

収集した郷土資料について市民への還元方法を教えてほしい。

(事務局)

展示で紹介したり、図書として登録している本について、貸出できるようにしている。

【委員】

日本語を母語としない市民の読書の手助けということで、特にポルトガル語の本の収集について教えてほしい。

(事務局)

ブラジルの社会情報について記載のある雑誌 (Veja) を入手している。

ほかにも、日本の文化や物語を紹介する中国語、韓国語、英語などで読める本を購入している。日本語を勉強したい方のために、やさしい日本語で書かれた資料を収集している。

【委員】

今後外国人が増えていくと思われ、健やかに育っていくためには居場所づくりが必要で、社会も変わっていく必要がある。そういった意味で図書館にも期待している。

【委員】

授業・学習支援センターから学校で本を借りている。

タブレットで調べることができるが、やはり本を手にとって調べ物をするのが重要で

あると考えている。

【委員】

ダイバーシティは図書館でも求められている。そういったことを図書館が考えていってほしい。

(3) 令和5年度主要事業

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の質問があった。

<質疑応答>

【委員】

古文書は、文章の中身がわからない。今の活字に表現にしてもらえるとわかりやすい。

(事務局)

翻刻作業は、専門家が行っても1か月かかるほど難しい。
ただ、「とよはしアーカイブ」において「飢饉の心得」という郷土和装本については、今の楷書で表現し読みやすいようにしている。

【委員】

展示の時は訳してほしい。

(事務局)

展示する資料についてポイントを絞って訳している。和装本については、少しずつ訳すことができるか、今後の課題である。

また、古文書講座を毎年行っており、最近は若い世代も増えてきた。入門編、応用編いずれも定員オーバーになることがある。

【委員】

中央図書館の改修工事のイメージを教えてください。

(事務局)

躯体はそのままリニューアルするイメージである。利用者の声を聴いたり、職員の意見を集約して、本の並び、ゾーニングを検討していく。

【委員】 学校を改修する際、学校図書館の改修も行った。

予算の都合はあったが、ほぼ希望がかなった新しい図書館ができた。改修についてはどういう方針があるか？また、改修中の対応について教えてください。

(事務局)

中央図書館をどう変えていくかについては職員が利用者からいただいたご意見、利用者アンケート、利用されていない方も含めた市民意識調査、図書館協議会や図書館職員によるワーキング、シンポジウム等、多角的に意見を集約して行っていきたいと考えている。

令和7年度～8年度に工事を行う予定である。8年度末頃にリニューアルオープンを行う予定である。仮設事務所を建てて予約資料の貸出など基本的なサービスは行うことも検討している。中央で行っているサービスについては分館で行う等、できるだけサービスの低下が起きないように対応していく予定である。資料については倉庫に保管予定で、郷土資料で利用頻度の高いものについては貸出できるようにしていく。

授業・学習支援センターについては、拠点をどうするかということや図書資料を单元ごとパックにして貸し出す方法などを検討している。